

東亞天文協會

—(觀測部月報)—

流星課月例報告 (66)

本年7月に於ける觀測者と觀測數は次の通である。

觀測者	觀測地	回数	時間數	流星數	觀測者	觀測地	回数	時間數	流星數
本田 實	鳥取縣八東	2	^分 65	17	小槇 嘉代	和歌山縣金屋	1	^分 120	21
廣瀨永治郎	岐阜縣美濃	2	180	44	宇野 良雄	京都市	3	180	22
稻垣 武五	東京市	3	343	46	山田 才吉	瀬戸市	4	210	22
小槇 和枝	和歌山縣金屋	12	2035	445	吉井 耕一	廣島縣竹原	13	2965	761
小槇孝二郎	”	5	315	80					

この外望月、森下、福井、西川、益岡、下村の諸氏から火球の報告があつた。

上旬は梅雨期で暗夜は殆んど恵まれず、觀測は殆んど不可能であつたが、中旬より月末までは天候概して良好で、觀測數も多く1400個以上の流星が得られた。

月末の水瓶座流星群については、未だ南米の觀測が入手せぬので、あまり詳しくはわからない。しかし日本内地に於ける廣瀨、本田、稻垣、小槇、吉井の諸氏の結果から見れば、特に著しい出現ではなかつたものと思はれる。輻射點は5個得られてゐるが廣瀨氏以外のものは従來の觀測位置より北にある。同じく下旬に稻垣氏は水瓶座の附近に輻射點をもつ別の流星群を見てゐる。

ペルセウス座流星群は吉井氏によつていち早く22日朝その先驅を見出されてゐる。其後月末まで小槇、吉井兩氏によつて多少の活動が注意された。

其他27—28日に小槇(和)、吉井氏によりペガス γ 流星群を、17—18日には吉井氏により龍座 δ 流星群を、下旬には吉井、小槇(孝)兩氏によつてカシオペア β 流星群の活動が觀測された。

負2等の大流星は合計20個見られてゐるが、その中同一流星の二重觀測が

3組ある。幅射點の決定されたものは28個である。(小嶺孝二郎)

× × × ×

12月には雙子座流星群が13—14日を中心として約10日間活動する。其の先驅は12月3—4日にあらはれるだらう。極大前は流星數多く、後は急激に少くなる。又上旬には大熊座 γ 流星群及び雙子座 β 流星群が見られる。會員の觀測を希望する。

變 光 星 課 報 告 (38)

倉 敷 小 山 秋 雄

1936年3月—10月の觀測報向數 (天界181號の續き)

氏 名	今津 績	木邊成磨	加藤孝一	香掛七二	高井博典	笹部榮一	伊達英太郎	佃 泰三	鈴木一男	小澤喜一	井澤正男	西井宗一	西川英男	藤浦茂雄	安武研二	横山俊郎	河合孝一	小山秋雄	合計
3 月	0	219	85	4	0	31	0	67	22	4	16	175	0	0	0	0	62	90	775
4 月	8	186	0	4	0	0	0	33	0	78	0	99	3	0	7	0	12	6	436
5 月	3	129	0	23	0	0	0	14	0	7	0	16	12	0	3	0	13	0	220
6 月	7	28	0	7	0	0	0	0	0	48	0	23	12	0	59	0	0	0	184
7 月	24	260	0	32	0	0	0	0	0	0	0	33	26	0	0	0	49	31	455
8 月	57	218	0	13	0	0	0	19	0	0	0	14	0	0	0	0	0	58	605
9 月	105	362	0	16	0	0	0	53	0	77	0	20	15	0	0	0	152	70	870
10 月	103	398	0	54	0	0	0	54	0	0	0	23	21	0	0	0	221	147	1001
1936年度累計 (34)---(38)																			
報告回数	12	12	4	12	3	4	3	12	4	9	3	12	7	1	6	3	9	9	
累 計	465	2685	377	501	36	158	81	296	117	689	73	1046	113	161	90	68	778	577	8311

本年度は5月、6月に甚だ少なくどの位の觀測數に達するかと危まれてゐたが、先づ相當な數に上つた。木邊氏が昨年度にもまして2600の質的にも優秀な觀測を續けてゐられるのは驚くの外はない。報告が減少した主な原因は新觀測者の加入を見なかつた點に存するらしい。

累年度變光星報告數

年 次	觀測者數	觀 測 數
1928	7	322
1929	6	1056
1930	2	409
1931	2	131

1934	10	2268
1935	25	9410
1936	18	8311

遊星面課月報

其の後木星が觀望期を過ぎたのと、土星がアンサ以外に大した興味が無いのと、或は亦來年の火星の準備に對する戰の前の静けさでも云ふべきか、9月から10月へかけての見取圖は殆んど無い。只例の渡邊氏と新進氣鋭の東京の小島修介氏がそれぞれ可成りの見取圖を送られた。又安武氏から5枚の土星スケッチを送られた。渡邊氏は最早やボツボツ火星に戰を挑まれ4枚のスケッチを彩色鮮やかに物された。小島氏は益々水彩畫の彩管を振はれて見事な美しい見取圖を送られる。渡邊氏は木星28枚、土星12枚、小島氏は木星12枚、土星2枚、月面シカ1ド山見取圖1枚で、月面の見取圖は初めての事として珍らしい。只小島氏の木星の見取圖は一寸縞の位置が異つてゐる様なのは遺憾です。

さて土星は中天にかゝり觀測には絶好の位置ですが、15糎以上でない和本體の縞も見えず、木星程興味はない。渡邊氏はアンサの傾が僅か大きくなり本體との間に間隙を認められ見取圖を畫かれてゐる。

金星も觀測には都合が良くなるばかりだが、向後は空は澄むがシーイングの悪い日が多くなるから、其點で金星ばかりでなく遊星面觀察には適しないのが残念である。そう云つた意味からでも火星は來年春になつてから觀測を開始する方が適當と云へる。いよいよ具體的に1937年度火星接近に對する觀測準備に移り度い。次回は特に當會遊星面課が主催して京都京星會、大阪天文研究會と共に協同觀測の陣を張り、去る1935年度とは全然異つた方針の下に大々的な觀測陣を取り、見取圖用紙も一定の物を作製して用ひる。協同觀測の詳細なプランは追號發表するが概略を下記します。

- (1) 期間=1937年3月中旬より8月31日迄。
- (2) 見取圖=最少6枚以上、即ち 0° より東廻りに 60° 宛探り得られる様、用紙は當課作製規定のもの、色彩畫にても可。
- (3) 器械=8糎口径以上の所有者に限る。(以下詳細次回月報)

黃道光課報告 (1936年9月分)

前號並に本號別項記載の如く、驍將本田君の臺灣に於ける熱心な活動と留守司令の形になつた廣瀨君の奮闘のあとを調べたい。他の諸君からの報告はなかつた。

本田 9 10 11 14 15 16 17 18 19 20 22 23 25 28 29

廣瀨 14 16 18 22 23 24 25

上記のうち、斜字體になつてゐる4個は宵西天の觀測。9月の西天は内地では望みがないが、さすがに南國の收獲である。本田君の熱心と熟練との賜として、有力な研究材料が残つた。頂點の著しい北偏は過去の記録から當然考へられることであるが、内地での年末頃の明るさを持つてゐるからおどろく。光帯は見えてゐない。雲が大いに妨げたのは惜しい。

曉東天は濠洲と同時觀測中で、従つて兩君の間にも多くの同時刻のものがある(臺灣は西部標準時)。興味多く見られる事實は、黃道光の頂點の位置に於いて、中心線の位置に於て、外形の位置に於て、臺灣では内地よりも南に見られてゐることである。即ち、ここにも視差がマイナスといふ結果があらはれてゐる!! 最初の經驗であるが、將來のこの種の調査を刺戟する十分な價值を持つてゐる。

臺灣では一曉に1時間おきに3~4回の觀測が行はれてゐる日が多い。このうち1回は濠洲との協同觀測の時刻で、日出前3時間半、明るさは内地の觀測と匹敵する。

光帯が天頂を超えて西の地平線まで達してゐるのが度々見られてゐる。而もこの光帯がその軸のあたりに稍濃度を大にしてゐるのはどう説明すべきものか? 光帯そのものの根本的再吟味が義務づけられる。黃道光の極大光度部が圓錐形でなく、密集した橢圓形をなしてゐるのが注目される。

以上の外、廣瀨君は8日夜半の月出をとらへてゐる。黃道星圖上に白道をたどつてみると頂點の著しい北偏、形は Jones 氏のものとよく似てゐる。同夜の水瓶座に於ける對日照は大きい橢圓形であつた。光帯は東方に細くて淡い。(課長)

太陽課 黒點相對數報告 (1936年10月)

觀測者(觀測地)	松本(臺灣彰化)	齋藤(臺灣臺中)	久保(高知高等學校)	伊達(兵庫縣雲雀丘)	改發(神戸市關守町)	野口(大阪市北區)	山野(奈良縣高取町)	前田(京都市下京區)	木邊(滋賀縣中里村)	香掛(長野縣青木村)	清水(靜岡縣島田町)	大石(靜岡縣吉永村)	淺居(橫濱保土谷區)	森久保(橫濱市中區)	山根(東京市青山)	山名(東京市板橋)	桮淵(東京市立一中)	千葉(岩手縣水澤町)	高村(米ハリウッド)
鏡徑耗	56	50	75	80	150	76	—	70	75	102	100	55	58	45	44	76	58	50	72
倍率	40	50	53	70	68	50	—	40	60	75	73	64	60	60	43	77	50	50	30
1	缺	125	雨	曇雨	曇雨	曇雨	雨	142	140	146	雨	雨	雨	曇雨	曇雨	曇雨	曇雨	124	96
2	曇	120	缺	曇	曇	曇	曇	缺	143	112	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	111	62
3	曇	缺	缺	缺	缺	曇	曇	61	143	112	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	60
4	曇	曇	缺	缺	缺	曇	曇	35	116	151	136	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	37
5	曇	曇	缺	缺	缺	曇	曇	42	138	164	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	152
6	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	53	曇	163	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	133
7	曇	125	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	156
8	曇	133	曇	曇	曇	曇	曇	75	123	143	149	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	缺
9	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	97	173	139	178	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	28
10	曇	74	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	45
11	曇	72	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	28
12	曇	82	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	47
13	曇	83	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	55
14	曇	82	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	28
15	曇	93	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	45
16	曇	135	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	47
17	曇	124	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	55
18	曇	101	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	28
19	曇	108	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	79
20	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	79
21	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	105
22	曇	73	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	79
23	曇	91	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	41
24	曇	100	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	93
25	曇	59	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	117
26	曇	31	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	122
27	曇	61	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	93
28	曇	96	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	117
29	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	125
30	曇	96	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	—
31	曇	124	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	—
日數	15	16	19	17	14	13	15	13	22	19	13	14	7	6	7	10	10	10	24
平均	90	89	113	108	110	105	41	96	105	104	122	88	—	—	—	126	99	87	75

●嬉ばしい二つの News! — ●今月は奈良縣高取町の山野清道氏が新に觀測を寄せられました。●更に Hollywood, California, U. S. A. の高村正兄氏から9月分の報告が届きました。地理的關係上報告が後れるのは止むを得ませんが、その代りまた非常に貴重な材料でもありますので、1月後れのまゝ、ここに發表しました。これだけは特に9月分である事に注意され度し。